



「ホント凄いな  
執事長殿の特性  
ブレンドティーは

何やっても  
起きやしねえ

一体なにを混ぜたら  
あんな強力な睡眠薬に  
なるんだか

…にしても  
年甲斐もなく  
がっつきすぎだろ  
あひよ  
執事長も



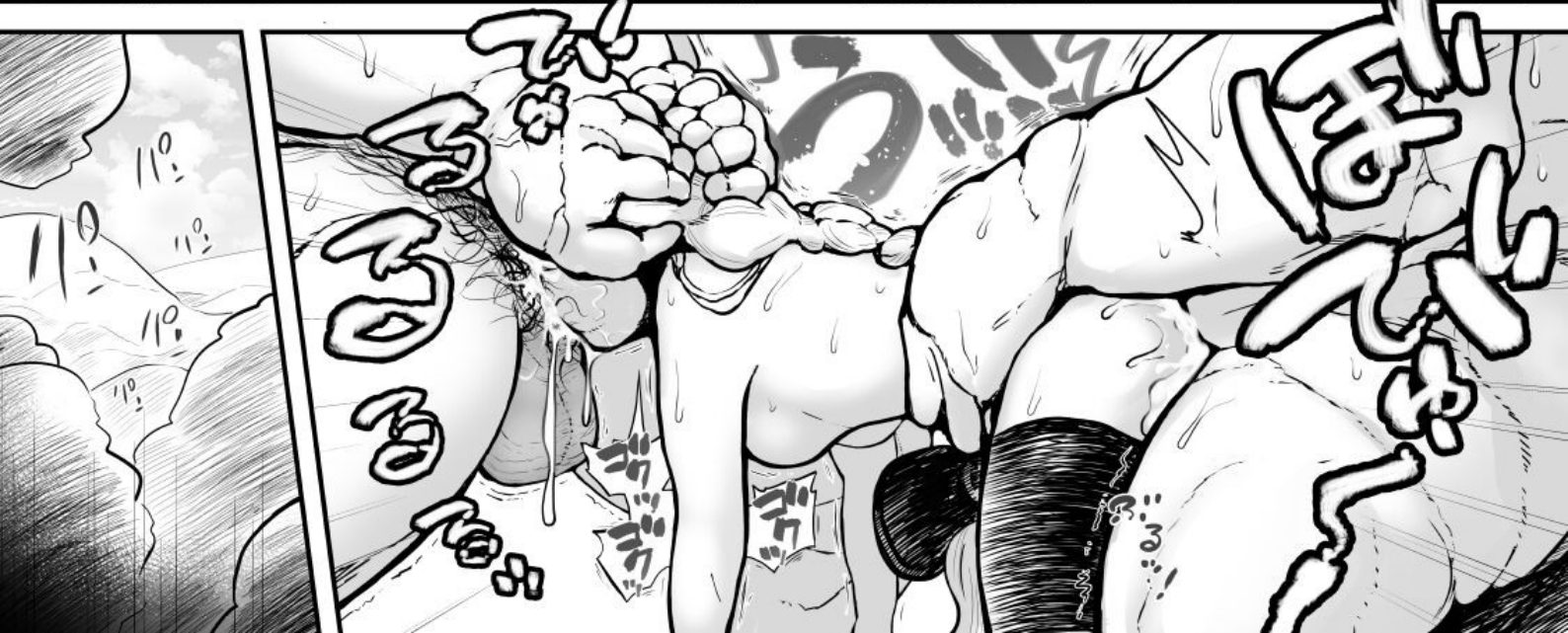
いつも一番お側に  
おられるからな

よっぽど  
溜まってるん  
だらうさ

まあ俺らも  
良い思いさせて  
もらうんだ

気にせず  
楽しもうぜ

それも  
そうだな



…そろそろ  
効果が切れるぞ

全員  
済んだな？

後処理の事も  
考えるところの辺で  
やめときますか

ああくそ  
名残惜しいな  
この身体…ッ！  
小せえくせに  
具合が良すぎるんだよ  
マジで

やっぱ良いモン食つてると  
腔内も違うのかねえ

後でちゃんと  
避妊薬もブレンドして  
差し上げないと…



わたし…

…あれ…

ええもう  
夕暮れ時で  
ございます

!!  
ゴッゴめんなさい!!  
眠ってしまいました!?

それは  
大変!

…結局お茶もあまり  
楽しめませんでした…

いえいえ  
とても美味しそうに  
頂いていましたよ

ほんとう？

ええ私がお出した  
ミルクティーなんて  
特に…

